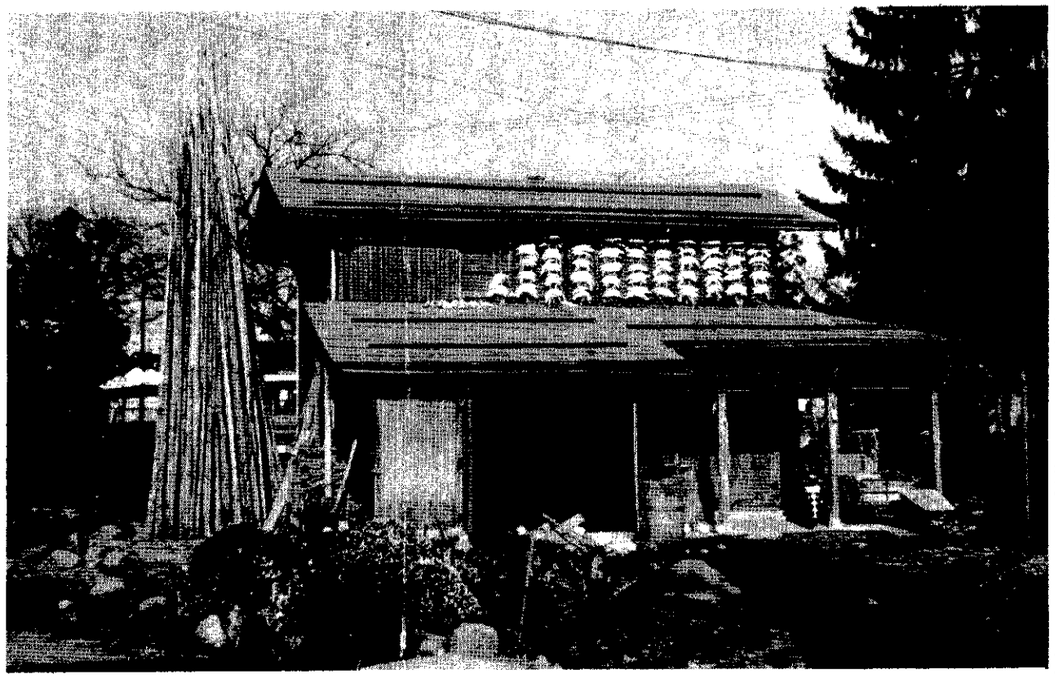
第245号
発行所
新潟県中魚沼郡
中里村公民館
毎月1回15日
定価 1部 5円

# なかさと

12月1日現在

| | | |
|---|---|---|
| 人口 | 7,303 | (＋2) |
| 男 | 3,622 | (＋2) |
| 女 | 3,681 | (＋0) |
| 世帯数 | 1,665 | (－2) |

カッコ内は前月との比較



## 農作物の作柄概況

### 米の出荷量は二七%減 畑作も全体的に減収

◎稲作

〔一〕今年の米の出荷量と米質

低温、長雨……春から大変苦労してきたのですが、冷害ということで大減収となった今年の稲作でした。

中里村の米の出荷量と米質について、食糧事務所の検査結果からみると、次の様になっています。

| 年度 | 検査数量 | 上位等級米比率 |
|---|---|---|
| 五十年 | 四、四九六俵 | 三二% |
| 五十一年 | 三、〇五〇俵 | 六〇.〇% |

この表でみますと、今年は、豊作だった昨年に比べ、出荷量は二七%、上位等級米は二〇%減っています。

〔二〕地帯別にみた作柄不振の原因

中里村を三地帯に分けてみますと、山間地（標高五百米以上）は低温による稔実不良、台地（標高四～五百米）は低温による稔実不良と穂いもち病の被害、平場（標高四百米以下）は穂いもち病の被害によって、作柄が悪くなっています。

なぜ、この様な作柄になったのか。やはり、八～九月の天候が極めて悪く、いわゆる冷害天候になったためかと思われます

昨年の天候が良かっただけに、今年は、自然のもつ力というものの大きさを、改めて強く感じさせられた年といわれます。

〔三〕冷害天候下では多収は望めないのか

それでは、この様な冷害天候下では多収は望めないかといいますと、いちがいにそうとは断定できない様に思います。

その例として、中里村のコシヒカリ共進会において、九俵以上とっている方のあることがそれを証明しているかと思います。

〔四〕今年に学ぶ技術的対策

(1)品種……何といっても8月20日～25日頃までに出穂する品種を選ぶこと。

(2)収量目標……今後は変動の大きい天候が予想されているので、八～九俵位に目標をおいた、健全な稲つくりを基礎とすること。

(3)育苗……特に機械移植用中苗は、低温にあうと立枯病をおこしやすいので、被覆資材と水による保温によって健苗をつくること。

(4)田植時期……早く播き、早く植えて、早く分けつをとり、早く出穂させること。

(5)肥料……今年の倒伏、いもち病の被害は、天候からみて多肥であったことに原因しているものが多い。このことから珪カル、燐酸、加里の多用は必要であるが、窒素肥料については元肥を少なくして、天候と稲姿をみながら追肥、穂肥を何回かに分けて施するようにすること。

(6)いもち病対策……葉いもち病からの早め～の防除と薬剤撒布回数を多くすること。

(7)水管理……低温時には湛水して保温することが必要。

といっても中干しを徹底しておかないと秋の機械収穫がむつかしいので、この計画も必要。

以上、今年の苦い経験の中から、問題となっている技術的事項について述べてみました。

皆さんの、今年の稲つくりをふり返って、来年の計画をたてるための検討材料として頂ければ幸いと思います。

◎畑作（そ菜）

今年は、天候不順ということで低温多雨のため、野菜類も生育不良、病害虫蔓延などがあり、栽培もむつかしい年であった。

中里村の主な野菜の今年の作付は加工トマト6ヘクタール、夏秋トマト1・7ヘクタール、夏大根8ヘクタールである。

それぞれの収量結果をみると、

二面へつづく



## 村民年賀交歓会 1月2日総合センターで

村民年賀交歓会を恒例により次の要領で開催いたします。

一、日時 一月二日 午前九時半より
一、場 総合センター
一、会費 一人五〇〇円
一、申し込み 十二月二十七日までに会費を添え公民館へ

## 新春村民娯楽大会 1月23日に総合センターで

恒例の村民娯楽大会を次の要領で開催いたします。皆様多数の参加をお待ちしています。

◉日時 昭和52年1月23日 午前九時より
◉種目 囲碁、麻雀、将棋かるた。
◉場所 総合センター
◉申し込み 一月二十二日までに公民館へ（電）四九三
但し参加者の少い種目は中止されることもあります。

## 51年度村内土木関係工事 2億7千万円を超す！

昭和51年は不景気風が吹き、冷害、凶作に見舞れたが、村内での道路関係工事及び、農地の整備事業は次の如く大量に実施された。

| | |
|---|---|
| 1．道路改良（6,405万円） | |
| 上山干溝線 259m | 倉俣甲号線舗装 250m |
| 田沢本村大原線 207m | 小沢線舗装 160m |
| 倉俣甲号線 250m | 通り山川原新田線舗装 147m |
| 山崎通り山線 58m と橋1本 | 田沢本村桂線舗装 297m |
| 通り山川原新田線 247m | 市之越白羽毛線舗装 |
| 芋沢山崎線（上山地内） 168m | 上山干溝線舗装（上山地内） 236m |
| 程島栗山線 63m | 芋沢山崎線（上山地内） 268m |
| 角間山手線 92m | 〃 290m |
| 小原干溝線 80m | 鹿地小出線 150m |
| 桂本村線 69m | |
| 2．道路維持（2,747万円） | |
| 荒屋消雪パイプ242m 井戸1本 | 芋沢山崎支線暗渠布替工事（田沢本村地内） |
| 倉俣大原線舗装修繕 80m | 盆中地内側溝修繕 |
| 清田山線 〃 | 角間上倉線 |
| 芋沢山崎線消雪パイプ井戸工事 | |
| 3．河川（466万円） | |
| 山ノ根川（田中地内） | |
| 4．林道（4,230万円） | |
| 田代線（改良） 171m | 田代線（救農） 200m |
| 〃（開設） 420m | 小出線戸線（開設） 270m |
| 5．治山（490万円） | |
| 6．復旧治山（7,471万円） | |
| 貝野堀ノ内 | 田沢角間（地上り） |
| 倉俣西田尻 | 倉俣（なだれ防止） |
| 田代（地上り） | 土倉（なだれ防止救農） |
| 田沢土倉（地上り） | 田代（保安林改良） |
| 7．農地（5,520万円） | |
| 篠沢農道 184m | 如来寺地区農免道路 300m |
| 七川（如来寺地内） 圃場整備 6ha | 東田沢地区道路補修 300m |
| 〃 農道 343m | |
| 合計 2億7,329万円 | |

## 赤黄青

### 信号機の設置について

国道山崎地内、清津峡入口に新しく信号機が設置され、十一月二十八日から始動しています。

運転者は勿論ですが、歩行者も従って正しく横断してください。

○横断の際は必ず一旦停って信号を見る。

○信号に従って横断歩道を渡る。

## 中里文芸 十二月投稿

昼下り鈍き音して熟柿落つ。　カウ

みだれ芒入れ衾しづかに噛み合わす。　おのえ

小春日や花の球根痛って干す。　鳴石

時く電線をつたってくる冬のかたち。　柄陽

困う手を止めて導びく燃料車　追風

夕べの蔵が残っている気まずいわかれ。　灯台

なかぞらに蔦の舞りおり雪近し　泥児

山林のみな落葉して星ひろう。　大泉

霜おきし月は木曾路を越えてゆく。　直彦

◎産声　氏名　父の名　部落
大島嗣美　利次　荒屋
富井絵理　田吉　山崎
山本保昭　安雄　篠沢
瀬切馨行　一雄　芋沢
山田伸秀　武夫　宮中
◎高砂〔新郎〕村山博〔三〕上山

◇泥棒つかまえて縄を綯う。
◇泣く子は育つ。
◇日光みないうちは結構というな。
◇念には念を。
◇のれんに腕押し。
◇腹八部目に医者いらず。
◇貧すれば鈍する。
◇[redacted]。
◇まな板の上にあげられた鯉の様
◇見よう見まね。
◇やぶから棒。
◇わが身をつねって人の痛さを知れ。
◇垢がたまって死んだもんはねえ。

## 村のことわざ

小柳定夫 採集

◇あまりもんに福がある。
◇行きがけの駄賃。
◇犬の遠吠。
◇内股かう薬。
◇奥歯にきぬきせた様。
◇親の心子知らず。
◇おんなじ（同じ）穴の狐。
◇風邪は万病のもと。
◇粥ばらもいっとき（一時）。
◇火事場泥棒。
◇きょんず（清水）の舞台からとんだつもり。
◇首っつりの足をひっぱる。
◇くその役にもたたない。
◇五十歩百歩。
◇ささら三八（きんぱち）
◇尻の毛まで抜かれる。
◇謎でもあしたのことは分らない。
◇[redacted]。
◇情けが仇。
◇苦虫かみつぶした様。
◇[redacted]。
◇としよりと釘の頭は引っこむがよい。
◇柿の木の下で栗をひろった。
◇蓄にも棒にもかからない。
◇馬鹿の馬鹿笑い（一テッパチ笑い）ともいう。
◇馬鹿の高のぞみ。
◇人目もじんくもねぇ。
◇のべつ幕なし。

〔新婦〕風巻　京子〔三〕津南町
〔新郎〕高橋　富夫〔二〕宮中
〔新婦〕板場　好子〔二〕津南町
〔新郎〕佐藤　和米〔三〕十日町
〔新婦〕上原　敏江〔三〕上山
〔新郎〕村山　慎一〔三〕田沢
〔新婦〕江口　量〔三〕千溝
〔新郎〕渡辺　保幸〔四〕高道山
〔新婦〕反り目陽子〔三〕津南町
〔新郎〕富井　一男〔三〕市之越
〔新婦〕阿部ふみ子〔三〕十日町
〔新郎〕中沢　富男〔四〕芋川
〔新婦〕涌井志津子〔三〕津南町
〔新郎〕山田富士松〔三〕清田山
〔新婦〕上原　澄代〔三〕重地
〔新郎〕樋口　貞夫〔三〕千溝
〔新婦〕小林　幸子〔三〕十日町
◎昇天　氏名　年令　部落
南雲　義一〔五〕堀之内
富井　絵理〔一〕山崎
吉栗　ハマ〔六〕上山
上原　トリ〔九〕通り山
桑原　トミ〔七〕山崎

芒月
初雪の消えて落ち葉ろび出で。　菊子
秋深し黙してかぞう父の年。　涼子
蒼球の如き日がありて霜化ける。　露丘
日日貝となる岳雪降り出す。　深雪
鳥渡る深空も雲も湖の中。

## 哀悼

芋川の竹藤正雄さん（四三）は、同部落地内県道へっつりの改良工事現場で、今月七日午前八時三十五分頃、橋梁部分の型枠取外作業中突然コンクリート壁が倒れ、間にはさまれ頭蓋底骨折胸部挫傷で即死した。

遺族は母と妻、子供三人で、家は大農家であり、気の毒のかぎりである。

## 寄付

昭和二、四年田沢小学校卒業生が同級会を行ったその残金、八五五〇円を村の社会福祉協議会に寄付して下さいました。

加工トマトでは十アール当り平均七トンで前年比八九%。

夏秋トマトは五・二トンで前年比六四%、大根は三、〇三六本で一〇二%となっているが、全体的には大巾な減収となった。

減収の結論は、大方が天候不良ということになるとは思われるが、はたしてそのためばかりであったかどうか。内訳をのぞきながら検討してみよう。

因に農協の資料から加工トマトの実績内訳をみると、平均収量七トン、最高一一・六トン、最低一・六トンとなっているがこの最高はかなりの収量水準であり、好天の昨年度は、八トン以上の収量をあげた人は四二%もあったのに、今年は皆無になっており、四トン以下が二八%もある。また、夏大根は昨年十アール当り平均二、九八六本であるのに対し、今年は三、〇三六本であるから、それぞれの作物によって種々であるが、特に作りにくかった果菜類等に限ってみれば天候の影響が大であったということになろう。

しかしながら、加工トマトで八トン以上の多収を得たものが三八%、夏秋トマトでは六～八トンの安定した収量圏四〇%があるので、反面、これを見るとこんな異常気象年でも、うまくつくれば何とか安定した収量をあげることも可能だといえそうな気がする。

うまく作るということは、いろいろ細かい技術の組み立ても必要であろうが、今年の場合は、特に土づくりと病害虫防除対策が重要であった。

雨が多く、低温の年は、土壌は過湿となり、肥料養分は流亡し、病害がはびこるが、有機物の多投は有用微生物にその住家を与え、保水、排水がうまくいくため作物の根の張りもよく、環境適応性は増大する。

適期防除は病害虫の蔓延をおさえ、経費も少なく、収量も確保できる。このようなことから、堆肥づくりや防除はめんどうな仕事だが、是非ともがんばってやりたいものです。

とかく何でも馴れてくると、基準通りのことをしなくなり易いが、確実に収益をあげてなくには、手抜き仕事は禁物。来年は仕事の先手をとって適期管理で高収量を手にしたいものである。

## 水稲共済金 五千三百万円を超すみこみ

冷たい夏で推移したことしの稲作は、出穂しても稔らないもの、全村にわたるいもち病の大発生で共済該当面積（標準反収減収量二十%以上）は二二九ヘクタールにも及び、その減収量は二四万四千百K（約四千七十俵）となり、その共済金額は五千三百万円余と共済制度史上最高が見こまれ、今年の冷害の深刻なことを物語っている。

尚、村では、近く議会にこれを諮り、年内に共済金を支払いできるよう作業をすすめている。

## ことしの稲作 大きかった地域差個人差

高井三郎（中魚沼農業改良普及所）

今年の稲作は水、陸共に凶作でありました。しかし、陸稲、馬鈴薯、里芋などは例外で豊作でした。今年の水稲の凶作の原因は、気象的にみると冷夏であったためであるが、稲作技術面での欠陥も大きくあった。更に稲作制限とうまい米づくりをやらねばならない農政にも問題があったようです。

私が勝手に水稲新潟二号を村内に推奨したので、責任上、品種の特性を発揮しているかどうかと現場を巡回してみました。併せて稲作概況も把握したので述べてみたいと思います。

一、特徴

農業に地域差、個人差がある水稲の冷害被害程度には著しい地域差、個人差の特徴があります。この特徴は標高五百メートル以上の地域で特に著るしく、大きな被害を受けた原因になっていると思います。

二、気象と稲の生育

数年前から冷害襲来が予測されながらみんなが油断していたようです。八月に入ってから特に低温、多雨、日照不足が重なって出穂が阻害され、出すくみが続き、出穂が遅れて出穂限界といわれる八月二十日を経過した地域が多かった。

又、出穂遅延によって開化受精が阻げられ、登熟期も低温であったため総実が不良でした。

三、品種

品種でよかったのは「トドロキワセ」。悪かったのは越路早生、初まさり（新潟一号）、五百万石などのようです。

不良気象に対する自己防衛は、品種の選択が重要となります。

四、施肥

地力のあるところ、良質の堆肥、珪酸、熔燐などを多施した水出は被害が軽減されています。よく耳に入ることは

(1)毎年増施してきたので増施した。(2)品種別の施肥ではない。(3)穂肥のやりすぎによる生育遅延と穂イモチ病の激発です。多肥して増収を期待する農家の気持はよくわかりますが、充分検討する必要があると思います

五、イモチ病の防除

今年の「イモチ病」は不順天候と多肥などによって発生したもので、被害の程度によって収量の個人差のできた最大の原因でした。積極的に防除をしたと思いますが、粉剤の場合、長雨に流されて薬剤の効果が少なかったようです。しかし長雨でも粉剤と粒剤の交互散布の効果は大きかったといわれております。

「イモチ病」の被害が大きくならない健康な稲作りが重要になります。充分に研究してみましょう。

六、来年のために

収量を引上げない限り経営に役立たない。しかし、地域差、個人差は作らないようにしたいものです。来年は巳年である。凶作は再来しないとはいえない。将来ずっと続く米作、くじけずに来年の計画を立てましょう。ひと口にいえば、今までに確立されている技術をどのようにして実行するかにあります。

ついでに新潟二号の特性について概要を述べてみたいと思います。

○出穂期は越路早生程度の早生うるちである

○苗は伸び易く葉色は淡い。

○穂長は越路早生並、稈長は越路早生より約十cm位短かい。

○穂数はやや少ない中間型。

○稈先色は淡黄色で、稈の太さは中でややかたく弾力性があり倒伏には強い。

○下葉の枯上り、稈いたみが極めて少なく、稔実粃色がよく、特に多肥条件下でも登熟性が高い。

○いもち病耐病性は葉、穂とも極めて強い。

○白葉枯病、紋枯病は越路早生より強く、穂発芽は越路早生より早い。

○玄米の粒形は中長、粒は越路早生よりも小さく小粒である

○心白、腹白は極めて少なく、粒色は濃く光沢にやや富む。

○整粒歩合が高い。

○品質は越路早生よりよく、食味は越路早生並である。

○収量性は、穂数少なく、小粒のため越路早生並である。

○穂数確保につとめれば越路早生より多収となる。

## 小出生活改善センター 倉俣教員住宅完成

今年七月に着工された小出生活改善センターがこのほど完成し、去る十一月二十日にその落成式が行なわれた。

小出部落の清津川のほとりに建てられたこのセンター、一階は生活改善実習室（調理室）と保育所として使用される小集会室、相談室などで九九・一五m二階は農林漁業研修室と大集会室で一〇〇・二五mとなっている。又、十一月十二日には、倉俣生活改善センター隣りに二階建ての教員住宅が完成。八人の先生が居住することになっている。

## 今年栽培して確認した特性概要

新潟二号（はなひかり）は母（子秋楽×奥羽一四五）父（ふ系六八号を交配してできた品種である。

○耐冷水性極めて強い。

○出穂は越路早生より早い（低温でも出穂がおくれない）

○冷水灌漑地でも完全に近く出穂し、稔実と整粒歩合がよい。

○イモチ病に極めて強い。

○葉、穂共に極めて強く、イモチの出やすい苗代あとでも多収であった。

◎問題点

肥料が多く必要で、栽培法によっては経済性が問題となる。

耐肥性が強く、収量と施肥限界が不明である。



# 田を深くよく耕して養えば 祈らずとも米やみのらん（二宮尊徳）

## 今冬の除（圧）雪計画

—建設課—

今冬の村内主要道路の除（圧）雪計画が図の通り決まりました。関係機関では除雪作業の能率化と安全のため、住民の皆様に次の点について御協力をよびかけています。

○道路（道路敷を含む）に工作物の設置（雪囲い）は、原則として道路法に基き認められませんが、雪国の特殊性により真に止むを得ないものは、許可申請書及び図面を役場経由で土木事務所へ提出して下さい。

○各戸の出入口は、除雪作業でふさがれる場合がありますので、御迷惑でも各戸において手直し、入口の両側に積上げて下さい。

○屋根の雪おろしは積重ね整理し、車道部は一車線又は一車線を必ず確保するようにお願いいたします。

○除雪作業中は危険でありますから係員の指示に従い、機械に接近しないよう、特に子供さんは、絶対に近寄らせないよう皆様の監視をお願いします。

○車は車庫へ。除雪対象路線に、自動車を駐車及び放置しないで下さい。待避所も同様お願いします。特に夜間駐車又は放置されたが為に事故の原因となり、又除雪作業遂行不能のおそれもあります。

○新潟県道路交通法施行細則第十三条一項で、道路に雪を捨てることを禁止されておりますから屋根の雪おろしは、部落毎に一斉におろすよう日を定めて、土木事務所又は役場建設課と連絡を密にして実施して下さい。

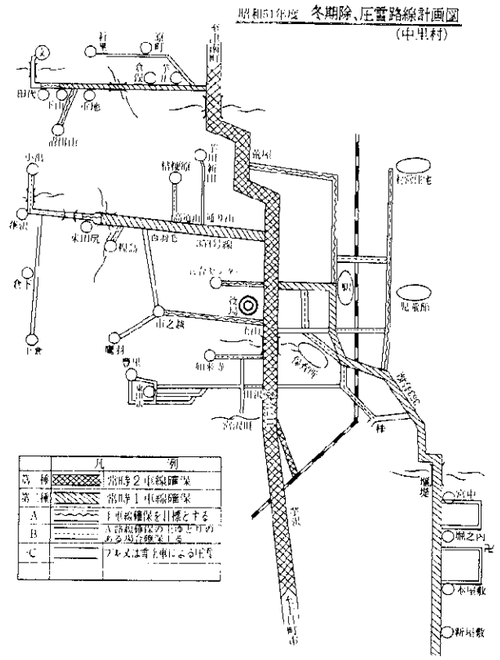
○その他作業上いろいろ皆様のご協力を要することが多々ありますが、よろしく御協力下さるようお願いいたします。

○除雪についての御注意御希望は左記に御連絡下さい。

十日町土木事務所

（電）十日町七—五五、一中里村役場（電）二五一一

昭和51年度 冬期除、圧雪路線計画図（中里村）




## 消費者懇談会 開かる

中里村食品衛生協会（会長井口清一）では、去る十一月二十五日、宮中集落開発センターと高道山小学校で消費者懇談会を開催した。これは、目須、村内の商店を利用している消費者の皆さんから、消費生活について、広く意見、希望などを聞きながら、正しい知識をもって、よりよい消費生活を送っていただこうと、料理実習を兼ねて行ったもの。今回の懇談会では、告詰のマークの読み方」についての質問がありましたので、缶詰とびん詰のことにふれてみます。

かん詰の栄養

農作物のかん詰は、ほとんどが収穫後、短時間で加工されますから、たとえば、みかんのかん詰には80%ものビタミンCが含まれています。さらに、脂質やたんぱく質なども、ほとんど変化せず、かえって消化のよい状態になっています。

かん詰のたべごろ

特に食べごろというものはありません。しかし、果物のシロップづけや魚の油づけなどのかん詰は、シロップや油が中身にしみわたるのに時間がかかりますから、

○果物のシロップづけは三ケ月以上

○魚の油づけは六ケ月以上経ったものが、味がなれておいしいときます。

かん詰の保存期間

直射日光の当たらないところで、通常の温度で貯蔵した場合は

○魚介類の水煮、油づけ、味つけ、コンビーフ、野菜水煮、米飯類では五年くらい。

○果物のシロップづけでは四年くらいとされています。

かん詰の保存方法

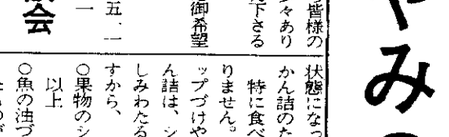
○開ける前……気温の変化が少なく、湿気の少ない場所に保管すること。かんは光を通しませんが、かん内の温度が上って品質が変化することもありますから、直射日光の当たるところには置かないように。

○開けたら……開かん後のいたみは早いものです。すぐ食べるのが原則ですが、保存するときは一度火を通したりした後、ガラスか陶器などの清潔な容器に移して冷蔵庫へ。

びん詰は直射日光を避けてびん詰はかん詰と全く同じ工程で作られていますが、光線を通すので変色をおこしやすい欠点があります。直射日光は避けることが必要です。密閉のしかたは、ツイスト・オブ・キャップ方式が最も多く使用されています。高い真空の下で、キャップの縁とびんの突出部をかみ合わせて固定するもので60～90度ひねるだけで開閉できます。

かん詰等、加工食品には製造年月日が入ることになっていますので、注意して新鮮なものを選ぶようにして下さい。

かんマークの読み方




調理方法マークの主なもの（上段第3字目）

| | | | |
|---|---|---|---|
| W | 野菜水煮 | T | トマトづけ |
| N | 魚類水煮、食肉類水煮 | O | 油づけ（オリーブ油） |
| L | まぐろ類水煮 | S | くんせい油づけ |
| Y | 果実糖液づけ | C | 味つけ |
| K | 焼き海苔および海苔焼き | JU | ジュース |
| R | 焼き味つけ（焼き肉など） | JM | ジャム |
| B | 味噌漬 | | |

## 国年通信（6）

### 現況届は忘れずに提出しよう

老令年金又は通算老令年金を受けている人は十一月人にも達しました。この老令年金の支払いは三、六、九、十一月の年四回（通算老令年金は六、十二月の年二回）の各支払い月に行なわれ、その支払い月になると社会保険庁から受給者のみなさんが希望した金融機関へ自動的に送金されます。

ところで、社会保険庁では、引き続き年金を支払いするためには受給者の皆さんの生存を確認する必要があります。

現況届とは、この確認を行うために年一回、受給者の皆さんから提出していただくもので、今回は昭和51年2月15日以前から受給している人達が提出しなければなりません。

現況届の用紙（ハガキ）は一月十五日ごろまでに社会保険庁から受給者のみなさんに直接お送りしますので、その用紙にあなたの住所、氏名を記入し（押印を忘れずに）中里村長の証明を受けて二月十五日までに確実に社会保険庁業務課に提出して下さい。現況届が提出されない時は、以後引き続いて年金を支払ってよいかどうかの判断がつきませんので、現況届が提出されるまで一時差し止められることになりますのでご注意下さい。

また、用紙が届かない場合には長岡社会保険事務所に備えてありますし、役場社会課にも一部備えてあります。